

楽器とその音楽の歴史をたずねて —— チェンバロとヴァイオリン ——

2025.11.12 Wed 18:10 – 19:40

18世紀に衰退したものの後に復興を遂げ、今ではその魅力が再び広く知られるようになった鍵盤楽器、チェンバロ。様々な変化を重ねつつ音楽史の表舞台で脚光を浴び続けてきたヴァイオリン。このワークショップでは、それぞれの楽器の演奏家をお招きし、実演を交えながら楽器の構造や奏法について解説し、その魅力に迫っていきます。

演奏・解説

Cembalo

石川 友香理

Ishikawa Yukari



東京藝術大学チェンバロ専攻を卒業。その後文化庁新進芸術家海外研修員として渡仏し、リヨン国立音楽院にて国家演奏家ディプロマを取得。同音楽院の通奏低音・歌唱伴奏科を経て、日本へ帰国。現在はチェンバロ、オルガン奏者として活動している。

フランスのバロック音楽に魅了され、更なる魅力発信に努めるべくフランス古楽グループ《On verra》を結成。他《La Musica Collana》メンバー。音楽教室「アイゼナハ音楽院」チェンバロ科講師。

Violin

丸山 韶

Maruyama Sho



京都市立芸術大学首席卒業。京都市長賞、京都音楽協会賞受賞。東京藝術大学別科古楽科修了。NHK「ららら♪クラシック」、「リサイタル・パッシオ」にソロ出演。バッハ・コレギウム・ジャパン メンバー。コントラポント コンサートマスター。La Musica Collanaディレクター。CD「Con affetto」、「Frenesia」、「Fioritura」をリリース。「レコード芸術」準特選盤、読売新聞、朝日新聞で推薦盤などに選出される。桐朋学園大学非常勤講師。

企画・進行：赤塚 健太郎（文芸学部芸術学科教授）

会場：

成城大学7号館4階 007教室

（小田急線成城学園前駅中央改札北口徒歩4分）

アクセスご案内 ▶



参加申込：

11月10日(月)までにイベントページの事前申請フォームよりお申込みください。

イベントページ ▼

※本ワークショップは「芸術学・美術史実習Ⅱ」の一環として実施されます。
※参加費無料・先着順（定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます）
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問い合わせ：成城大学文芸学部 bungei55@seijo.jp

